

【22_151技術系メルマガ】トレードにおいて『技術』に集中すべき本質的理由

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

5月もいよいよ終わりですね。

これで6月が終わると今年1年も、折り返しに突入してしまうわけです(恐ろしや)。

ぼちぼち、少しお休みモードになっていたトレードも再開したので

またメルマガで事例を紹介していきます。

▼GBPUSD(S) 結果:建値▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1531185109118091264?s=20&t=gIGsQOFCywa5mynX1WzVlw>

日足、H4足の環境としては高値圏にいるので、ロングを追って入れるのはもう怖い所。

そこでH4/Wtop右肩を作るという想定でM15/40-50の邪魔なMAを下抜けてからのプルバック、M5足の収縮MAに戻ってきたところでエントリー。

結果、M15足の収縮が甘いせいか、方向感が出ず建値撤退

～～

さて今回は月末ということで、トレード技術を『総括』して考える事をテーマとしたいと思います。

□
■ 何度も言うが「金額にフォーカス」してはトレードは勝てるようにならない

これ、本当に「しつこいわ」と言われるレベルで何度も言っている事ではありますが

ポイントになるのは“勝てるように”ならないということ。

要するに、一時偶発的に調子よく勝てることはあっても

そこから『継続的』な利益に繋げることができない ということです。

なぜそこまで言い切れるのかというと、「〇〇万円稼ぐ」事だけ为目标にしたトレードでは

最終的にその金額を稼ぐに至る『過程』に一貫性が無い場合が多く

極端な話、「手段を問わない」トレードを許してしまうからです。

要は、「どんなやり方だろうと稼げれば良い」という思考回路になってしまっているので

自分が1度のトレードでどれだけのサイズのリスクを負っているのかも把握出来ない状態に陥り

一度調子を崩して負けがこみだせば、途端に大損失をこさえてしまうわけです。

▼先日のツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1530800871617007617?s=20&t=rXrKPCYXrf9xc_Ue1uMaiA

このツイートも、2日くらい前にしたものなので覚えている方もおられると思いますが

トレードで『安定的に利益を上げ続ける』ことを重要視するのであれば

意識しなければならないことがあります。

それは『一貫した方法論(型・ルール)』に沿って、結果的に安定した利回りを確保できる状態を作ることです。

これが、先日のツイートにおいて自分に対して戒めている事であり、僕の情報に注目してくれる人に

しっかり深読みをしてほしいと思っているポイントでもあります。

自分が「1万円」の資金に対して『取ってよいリスクと期待すべきリワード』を考え

適正な成果を着実に得られるトレードを継続的に行うこと。

それを自信をもって出来るようになれば、その資金量が10万円、100万円になっても

やるべきことは変わりません。

取るリスクのパーセンテージに伴ってロットが変わるので、金額的にはリスクもリワードも当然変わりますが

僕は、これが本来の『複利運用』の在り方だと考えています。

たしかに、リスクを張るからそれに応じた利益を得られる。故に『複利』を活かしてこそ初めて投機としてのFXである

という主張は真っ当だと思います。

僕はただ、無茶なリスクを取って少ない資金から大金を得ようとする事を「複利」と表現するのは間違いである、と言っているだけのことです。

これではただのギャンブルですし、そのような主張は射幸心を煽るだけで学びにも繋がりません。

僕が常々、トレードにおいては「稼ぐ金額」にフォーカスするのではなく

『一貫した型』を遂行した過程で得られる『利回り』に注目するようにお伝えするのは

上記の考えが根底にあるのです。

この考えに沿って考えると、確かに種銭が少ないうちは、お小遣い程度の金額しか稼げないじゃないか

と思われるかもしれませんが

資金量に応じて、取る(金銭的)リスクが小さいうちに一貫性のある技術を磨き

いざ大きな資金を運用するときに、プレッシャーを感じることなく『同じ感覚』で運用できるようになる事こそ

『確かな技術の研鑽』であるし、それを実践できる人が本当に『巧いトレード』をする人と言えるのではないのでしょうか。

僕自身、まだその『技術』を磨いている途上にあると思っていますが

今日より明日の自分が、より1歩進んだ技術を身につけられているようになるために

この考え方を大事にして今後も取り組んでいきたいと考えています。